

佐賀県立大学(仮称)整備設計に係るコンストラクション・マネジメント業務 受託候補者の選定結果及び審査講評

1. 選定結果

佐賀県立大学(仮称)整備設計に係るコンストラクション・マネジメント業務委託について、公募型プロポーザル方式により、次のとおり受託候補者を選定しました。

受託候補者 株式会社 山下 PMC
代表取締役社長 社長執行役員 丸山 優子

2. 個別講評

委員会では、業務実施体制、技術提案書に記載された業務の実施方針等及び2つの特定テーマに対する提案内容について審査を行い、ヒアリングの結果を踏まえ、以下のような点について評価しました。

<最も適した者>

○株式会社 山下 PMC (提案者番号②)

- ・ 県立大学の整備を進めていくうえでの課題を明確化し、それらを解決していくための具体的な提案がなされている。
- ・ 基本設計、実施設計の各段階において、バリューエンジニアリング(VE)やコストダウン(CD)によるコスト管理の時期を明確に示した提案がなされており、具体性のある提案がなされている。
- ・ スケジュールマネジメントにおけるマイルストーンやクリティカルパスの設定が具体的かつ適正に行われており、問題解決に向け実現性がある提案がなされている。
- ・ 地域との連携など、県立大学のコンセプトを実現することについて、これまでの経験に基づき独自の提案がなされている。
- ・ 質疑応答について、これまでの実績に裏付けされた回答がなされている。

<次点者>

○株式会社安井建築設計事務所 九州事務所 (提案者番号①)

- ・ 事業を円滑に進めるためにどのようなマネジメント手法が必要か、そのためにどのような取組を行うのかについて提案がなされているが、一般的なものであった。
- ・ コスト管理について、資材高騰が続く中、コスト縮減についての提案がなされているが、一般的なものであった。
- ・ 調達スケジュールについて、実績、経験に基づく提案がなされている。
- ・ 設計事務所としての実績を踏まえ、発注者側の目線を意識した提案がなされている。
- ・ 質疑応答について、これまでの実績に裏付けされた回答がなされている。

3. 総評

本プロポーザルは、「佐賀県立大学(仮称)」の設置を進めるにあたり、県の補助者として、設計の検討や工程管理、コスト管理等のマネジメント業務を行うコンストラクション・マネジメント業務の受託候補者を選定するものです。

県立大学の施設整備にあたっては、建設工事費の高騰が続く中で市場価格を的確に把握したコスト管理や、令和11年4月の開学、令和12年4月の新校舎利用開始を見据えたスケジュール管理が必要であることから、今回、事業を円滑に進めるためのマネジメント手法等について技術提案を求めました。

受託候補者の選定に当たっては、各社のこれまでの実績を踏まえた、具体的なコスト管理やスケジュール管理等に関する提案と、会社の実績や技術者の経験などを総合的に評価しました。

選定された株式会社 山下 PMC は、県立大学整備における課題を提示したうえで、VE や CD について検討すべき時期を明確に示すなど時間軸を考慮したコストマネジメントの提案や、県立大学の現状を踏まえた具体的なマイルストーン、クリティカルパスの提案を行っていました。さらに、自由提案においても、これまでの実績を踏まえた具体性のある独自の提案を行っており、選定委員会として、総合的に優れていると判断し、最も適した者として選定することとしました。

選定された受託候補者には、プロポーザルで評価された点を活かしながら、県立大学整備を積極的に支援していただきたいと思います。

また、惜しくも最も適した者に選定されなかった参加者に対して、技術提案書の作成等に多大なる時間と労力を費やし、自らのノウハウを反映した提案を行っていただいたことに、委員一同感謝の意を表します。

佐賀県立大学(仮称)整備設計に係る

コンストラクション・マネジメント業務受託候補者選定委員会

(参考) コンストラクション・マネジメント業務受託候補者選定の流れ

○ 令和6年10月29日 第1回選定委員会

参加資格要件、評価基準、技術提案を求める特定テーマ等について審議

○ 令和6年10月31日 公告(公募開始)

○ 令和6年11月15日 参加表明書の提出期限

[参加表明者] 2者

○ 令和6年11月28日 技術提案書提出者の選定通知

[選定者] 2者

○ 令和6年12月16日 技術提案書の提出期限

[技術提案書提出者] 2者

○ 令和6年12月26日 第2回選定委員会 (一次審査)

技術提案書に関するヒアリング対象者の選定

○ 令和6年12月26日 一次審査の結果通知

[選定者] 2者

○ 令和7年1月15日 第3回選定委員会 (二次審査)

技術提案書提出者2者による公開ヒアリングを実施

最も適した者及び次点者を選定

○ 令和7年1月16日 二次審査の結果通知

[最も適した者] 株式会社 山下 PMC

[次点者] 株式会社安井建築設計事務所 九州事務所